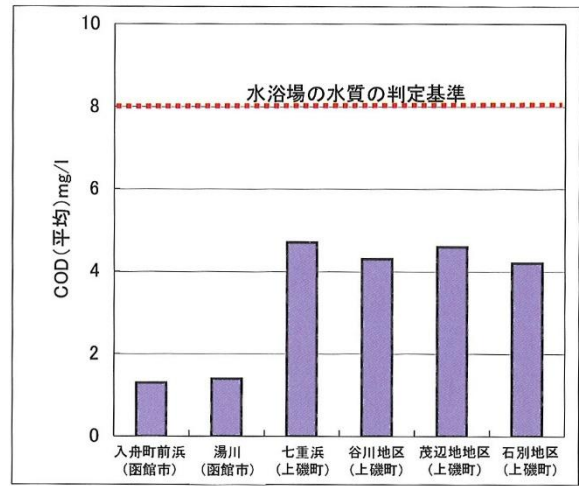
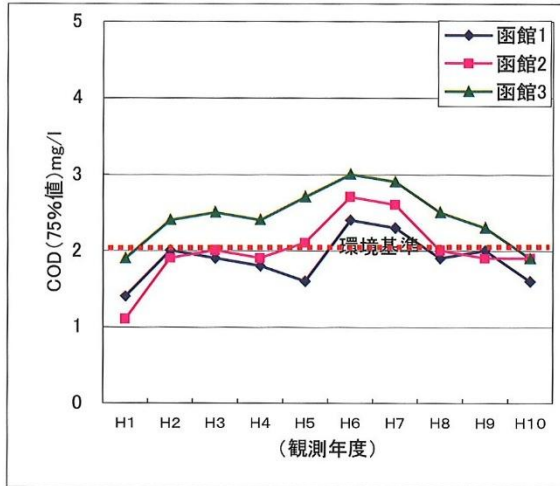


#### 4) 水質環境の保全、改善

◆公共用水域の水質測定結果によると函館海域のCODは平成6年をピークに下降し、「環境基準」を達成しています。海水浴場の水質調査結果についても「水浴場の水質の判定基準」において「適」「可」と判定され、海水浴に支障のない水質です。



<観測地点は次頁の図を参照>

図-17 函館海域のCOD

図-18 水浴場のCOD

資料-「公共用水域の水質測定結果」(北海道)

資料-「平成12年度水質調査結果」(渡島支庁)

◆渡島南沿岸住民アンケートによると「海の水質の10年前との比較」では都市部では「良くなった、変わらない」、地方では「悪くなった」と感じている住民が多くなっています。「海辺とのふれあい」が安全に楽しめるように、海岸生態系・水産資源の保全面からも継続した水質環境の保全・改善への配慮が必要です。

#### 水質の10年前との比較

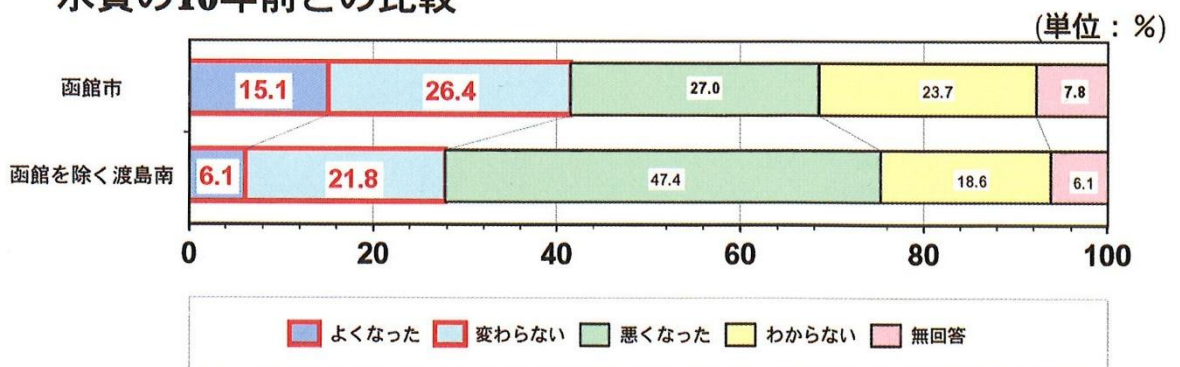


図-19 海の水質の10年前との比較

資料-渡島南沿岸住民アンケート(2000年12月)

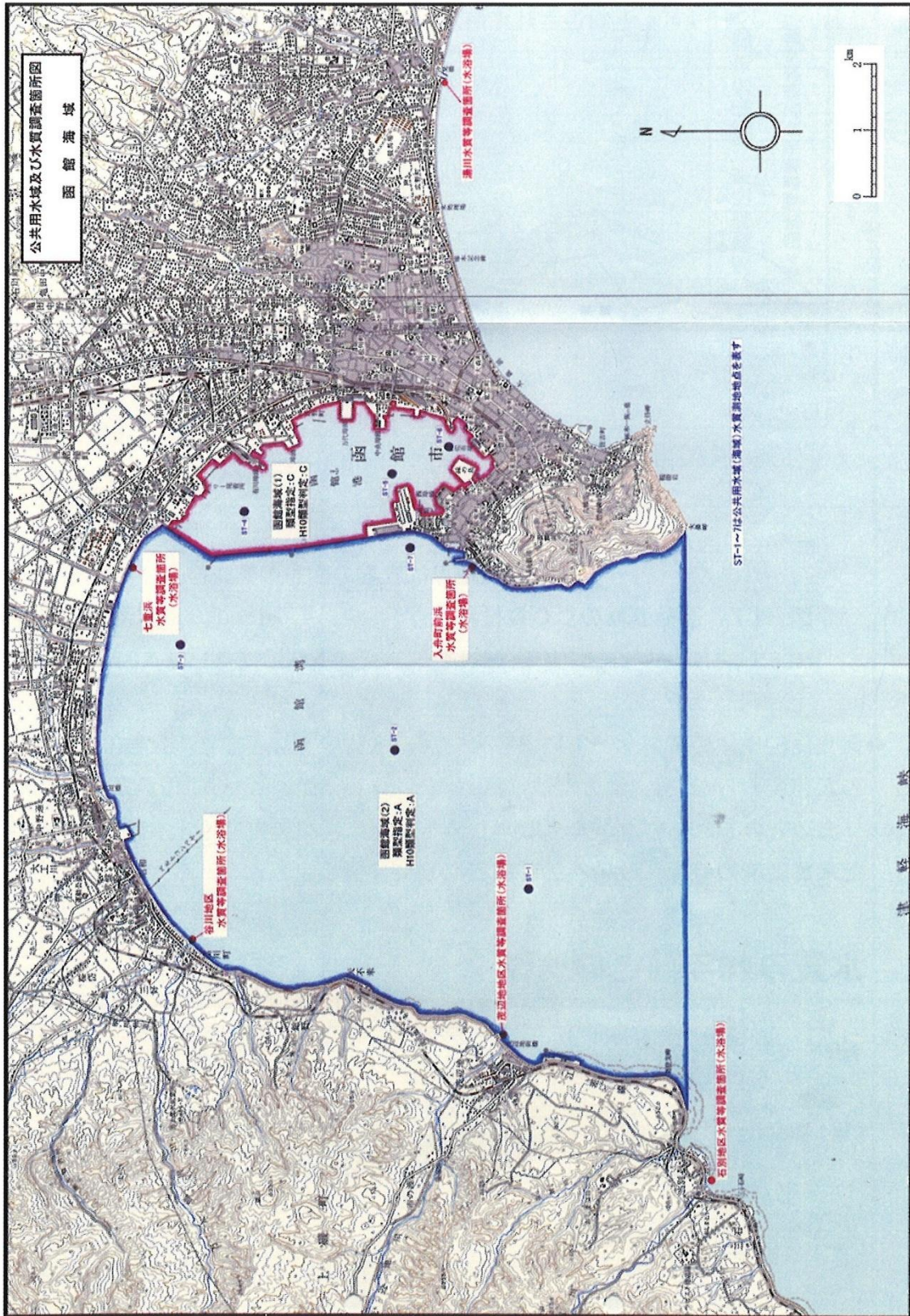
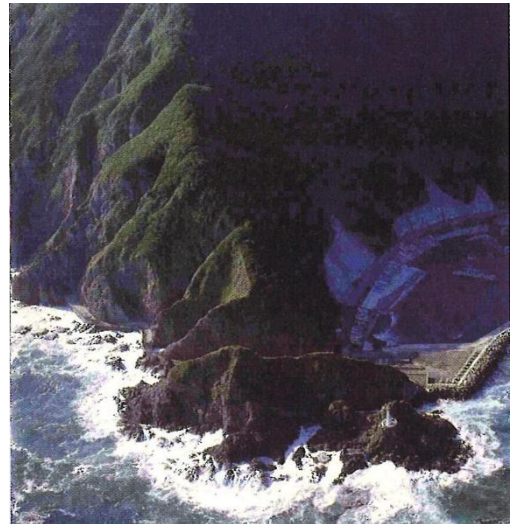


図-20 公共用水域及び水浴場水質調査箇所函館海岸景観の保全

◆美しい海岸景観は住民や訪れる人々の心を和ませます。渡島南沿岸は自然豊かな海蝕崖が広く発達し、「すぐれた自然地域」(北海道自然環境保全指針)として選ばれた「恵山海岸」「矢越岬周辺海岸」「立待岬」「白神岬」などが海岸景観を代表しています。海岸沿いには交通路が整備され、観光地や景勝地として住民や観光客に親しまれています。



写真－17 小谷石(知内町)



写真－18 日浦岬(函館市)

◆渡島南沿岸住民アンケートによると、「施設等を整備していくこと」では、景観や眺めに配慮、自然環境と共生・活用する施設整備を進めることが期待されています。沿岸の自然豊かな海岸景観が次世代に継承されるよう保全するとともに、保全・利用施設の整備においては周囲の景観・環境への配慮を心がけることが大切です。

### 今後利便施設を整備していくことについて



図－21 利便施設を整備していくことについて

資料－渡島南沿岸住民アンケート(2000年12月)

## 5) ゴミ対策と住民参加の海岸環境保全

◆渡島南沿岸住民アンケートによると、「海岸で不満に思うこと」ではゴミが多いという回答が26%となり最も多く、「10年前と比べてどうなったか」では海岸のゴミや油、砂浜のゴミについて約半数の人が多くなったと感じています。

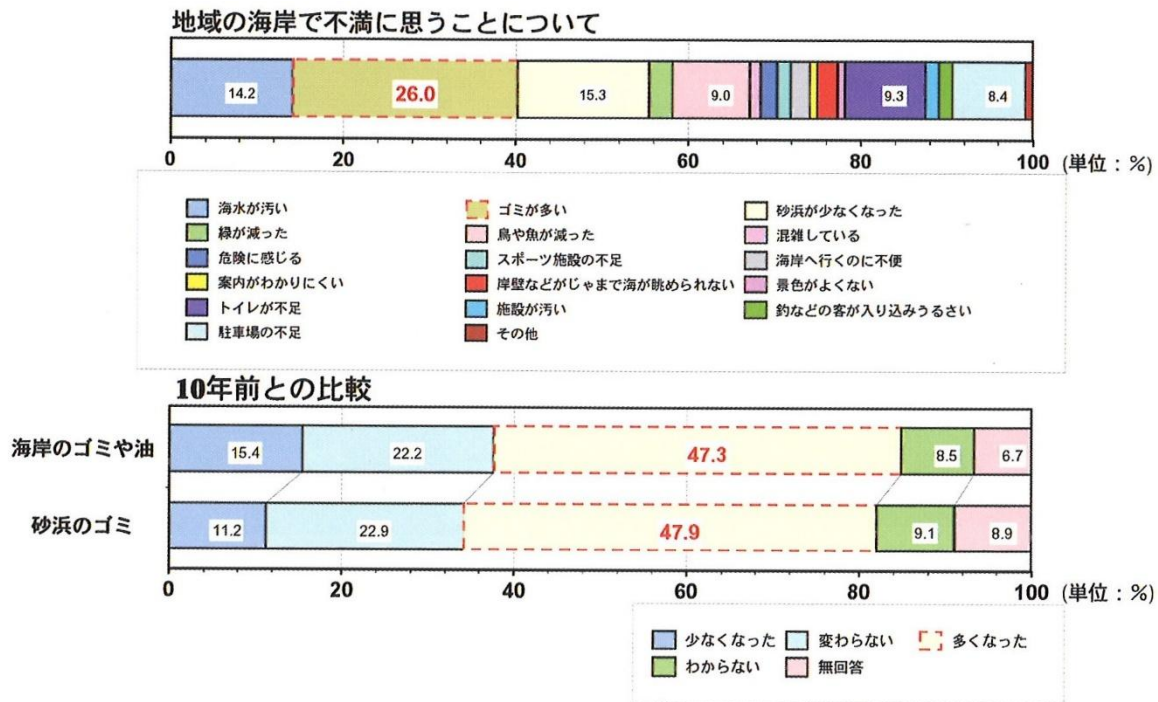


図-22 海岸で不満に思うこと

資料-渡島南沿岸住民アンケート (2000年12月)



写真-19 海岸のゴミの事例 (木古内町)

- ◆地域住民によるボランティア活動では主に海岸清掃が行われており、地域によっては植樹などの活動も行われています。
- ◆渡島南沿岸住民アンケートによると、「ボランティア活動についての考え」では、すでに参加している、続けて欲しいなど肯定的な意見が大半を占めています。
- ◆海岸環境で避けられない課題がゴミ対策であり、漂着ゴミ・流木による環境への影響、その処理や不法投棄の対策などさまざまな問題を抱えています。美しい海岸環境を守るため、関係機関や地域住民との連携を深め、役割分担を明確にするとともに、ボランティアなどと協力して環境の保全に取り組んでいく必要があります。

### ゴミ拾いや植樹などのボランティア活動について



図-23 ボランティア活動についての考え

資料-渡島南沿岸住民アンケート(2000年12月)



写真-20 海岸の清掃活動